

コロナ禍における大学体育

- 甲南大学の取り組みについて -

本学では「徳・体・知」のバランスの取れた人物教育に取り組み、体育を必修科目に位置づけています。本センターは、「徳・体・知」の人物教育の基盤を支えるため、スポーツ・健康科学に関する調査・研究および教育を行なってきました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、体育においても、Webを活用し、試行錯誤しながら授業を実施してきました。

今回の研究会では、「コロナ禍における大学体育」をテーマに本学での取り組みを紹介するとともに、今後の授業実施に役立てていただくことを目的に開催させていただきます。本研究会は、どなたでもご参加いただけます。視聴を希望される方は下記よりお申し込みください。

視聴期間 2021年1月13日(水)～19日(火)まで ※期間中いつでもご視聴いただけます。

配信方法 YouTube を使用したオンデマンド配信

第1部

1 本学の体育授業に関する対応 吉本 忠弘 (共通教育センター准教授 / スポーツ・健康科学教育研究センター兼任教員)

新型コロナウイルスに伴う感染症拡大防止策の一環として、日本政府は2020年2月27日に国内の小・中・高等学校の休校を要請しました。全国各地では3月2日以降に休校措置が取られるようになり、これを機に、オンライン授業をはじめとする様々な授業形態に関する検討が世界中で本格化しました。本学では対面授業の実施を視野に入れながらも最終的に前期期間中はWebを活用した授業が大半を占める形となり、体育授業も同様の形式で実施しました。

本発表では、2020年前期の体育授業に関する諸対応の概要を時系列で紹介します。コロナ禍における体育授業に関する検討記録報告は今後、再び予測不可能な事態に直面した際の諸対応に関する道しるべとして機能するでしょう。

2 コロナ禍における大学体育 - 甲南大学の取り組みについて - 桂 豊 (共通教育センター教授 / スポーツ・健康科学教育研究センター兼任教員)

甲南大学において、「基礎体育学演習」は1年生が受講する必修科目です。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で前期の授業の全てをWebを活用した講義で対応することを余儀なくされました。これまで基礎体育学演習では、実技や体力測定、健康リテラシー講義を通して調和の取れた心身の育成に努めてきました。今年度の履修者数約2,000名を53クラスに分け、教員20名によるチームティーチングで取り組みました。新型コロナウイルスの感染拡大が予想もつかない状況でしたので、まず健康リテラシーの講義を前倒しで行いました。その後、前期中の全ての授業がWebを活用した講義となりましたので、教員が作成した実技動画を配信し学生が各自で運動実施前後の測定を行いその成果を分析する課題を提出させることに決定しました。教員で手分けをし実技動画を撮影・編集し配信の準備をしました。対面授業ではなく学生の顔の見えないWebでの出欠の管理や課題の提出など我々教員サイドにとっても学生達にとってもクリアしなければならない問題は山積していましたが、一つ一つその都度対応し乗り越えていきました。コロナ禍において我々甲南大学スポーツ・健康科学教育センターの保健体育科目の担当スタッフが試行錯誤しながら開講した「基礎体育学演習」の取り組みについてその内容をご紹介します。

申込方法 URLまたは、右記QRコードからお申し込みください。 お申込みはこちらから

<https://forms.gle/4EdwngqiEfcdNuqY7> 🔍 検索



問い合わせ先 甲南大学 スポーツ・健康科学教育研究センター

Tel : 078-435-2888 住所 : 神戸市東灘区岡本 8-9-1

E-Mail : sports@adm.konan-u.ac.jp